
ウルトラマンメビウスと天空の少女達

壬の龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ウルトラマンメビウスと天空の少女達

【Nコード】

N0939BA

【作者名】

壬の龍

【あらすじ】

ウルトラマンメビウスが宇宙パトロールをしていた最中に発見したカプセルを追うとしていたらワームホールに吸い込まれ。ストライクウィッチーズの世界に飛ばされてしまった。メビウスはあらゆる怪獣や宇宙人等と戦うこととなります。そして新たらしい仲間ストライクウィッチーズと新しい仲間と共に。

プロローグ(前書き)

いきなり戦闘シーンです。

プロローグ

「メビウス」

CREW GUY'Sの皆と別れて800年の時が流れた。

僕は今火星で宇宙有翼骨獣ゲランダと戦っていた。

メビウス「セア！」

僕はゲランダの腹部にパンチを撃ち込んだ。

しかしゲランダのボディの固さはダイヤモンド並に固かった。

僕はメビウスブレスからメビウムソードで斬りかかった。

しかしゲランダのボディの固さにメビウムソードでさえ全く効いていなかった。

ゲランダ「グルルル！」

ゲランダは口からジービームを放った。

僕はメビウスバリアで防ごうとしたがあまりの破壊力にバリア自体が粉々に破壊された。

ゲランダは地面にジービームを放った。

そのせいで土煙が舞い上がった。

ゲランダは上空からマツハクラツシュを

メビウスブレスを右に引いて上空に光のエネルギーを集めてメビウムシユートを放った。

ゲランダに直撃してゲランダは爆死した。

すると火星で小さな女の子が立っていた。

酸素マスク無しで僕に何かを言った。

少女「急いであの少女達を助けて。」

その言葉を言っつて少女は光になり姿を消した。

そして僕は光の国に帰還した。

そして僕は知る事がなかった。
僕ウルトラマンメビウスは11人のウィッチと世界の闇と戦うこと
になるということを。

プロローグ（後書き）

どうだったでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0939ba/>

ウルトラマンメビウスと天空の少女達

2012年1月2日02時51分発行